

令和3年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽				
所在地	生駒市小瀬町324番地2				
指定管理者名	特定医療法人仁悠会	指定期間	開始日	令和 3 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 12 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 1 年目		
設置目的	要介護者等について、日常生活の自立を支援し、又は居宅における生活への復帰を促進するため、介護保険法に規定する介護老人保健施設を設置する。				
主な実施事業等	介護保険法に規程する、通所リハビリテーション、短期入所療養介護、介護保健施設サービス、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護、訪問リハビリテーション				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
入所・短期	人	90人/日	95.9人/日	2.7人/日	コロナの影響で退所を控える方が増加した
通所リハビリテーション	人	40人/日	40.8人/日	▲0.5人/日	コロナの影響で利用を控える方が増加した
短時間通所リハビリテーション	人	6人/日	3.2人/日	▲0.5人/日	コロナの影響で利用を控える方が増加した

3 事業収支

	事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計 A	605120000	653652057	654,281,935
指定管理料			
利用料金収入 C	604557000	650031315	643,086,259
自主事業収入	443000	396070	435,650
その他	120000	3224672	10,760,026
支出計 B	0	609021820	609,479,953
指定事業費		609021820	609,479,953
うち人件費 D		360391926	372,289,145
うち再委託料 E		66883907	66,741,120
自主事業費			
事業収支 A-B	605120000	44630237	44,801,982
利用料金比率 C/A	0.999	0.994	0.983
人件費比率 D/B		0.592	0.611
再委託費比率 E/B		0.110	0.110
補足説明(必要に応じて記入)			
その他収入→コロナ補助金の計上			

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者から・意見箱の設置・その他()
実施結果	意見内容等		対応実績等
	洗濯物のカゴが地べたに置かれている。夏や梅雨時期は不潔に感じる		不快な思いをさせ誠に申し訳ございませんでした。コロナ対策の為に洗濯物置き場を移動させてから清潔な保管場所の確保が出来ていませんでした。今後は洗濯籠の下にすのこを敷きます。貴重なご意見をありがとうございました

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	これまでと同様に、個々の利用者の状態に応じた、多職種によるチームケアを行い、在宅復帰率58.3%と非常に高い実績を達成しました。今後も在宅強化型介護老人保健施設として、介護老人保健施設の重要な機能である「在宅復帰施設」としての役割を果たし、地域の身近な存在として、高齢者福祉の発展に努めます。
市の評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、低下傾向にあった在宅復帰率の向上に取り組んでいただき超強化型介護保険施設としての役割を果たしている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	公設施設としての公共性、公平性の役割を十分に認識し、施設利用について平等に行われるよう、適正な管理・運営に努めています。また、入退所の判定等、真に支援が必要とする高齢者とその家族に対して平等に行われるよう、多職種によって構成される入所・継続判定委員会を組織し、公平さを高めるようにしています。
市の評価	入隊所の判定等については判定委員会を設置し、利用者の公平性を確保いただくなど、公共性の高い施設として認識いただき取り組んでいただいている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	引き続き年2回の利用者アンケート、食事嗜好調査の実施や2箇所に意見箱を設置し、利用者の意見を汲み取り、結果の分析や評価を行い改善策を実施しています。また、苦情等については、相談窓口を設置し、迅速な対応に努めています。
市の評価	食事の嗜好調査や、利用者アンケートを年2回実施いただき、施設内に2か所意見箱を設置するなど、利用者意見の積極的な把握に努め、それらの結果をサービス向上に活用いただいている。また、利用者の苦情対応も迅速丁寧を心がけていただいている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	以前より継続して節水バルブの取り付け等による経費の節減に努めています。また、環境負荷低減活動を推進するためにも、エネルギー消費を抑える努力を行っています。
市の評価	経費節減に合わせ、エネルギー消費に配慮いただき努力いただいている。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	引き続きリハビリテーションの提供体制の強化や、デイサービスの利用時間の種類の増加を行うなど、利用者ニーズの幅を広げ、利用者の増加が図れるよう努めています。
市の評価	コロナ禍による利用減などの影響が続くなか、利用者ニーズをくみ取り利用内容を見直し、利用者増に向け取り組んでいただいている。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	コロナ感染症の影響で、これまで開催していた「市民公開セミナー」「小学校からの社会実習の受け入れ」「第三者評価の受審」等が滞っていますが、看護学校や介護の専門学校の実習生を受け入れたり、優楽の活動内容を纏めた季刊誌を発行し配布するなどして、外部との接触を図ってサービスの質の向上等に取組んでいます。
市の評価	新型コロナウイルス感染対策による様々な制限がかかる中、実習生の受け入れを継続いただき、季刊誌による情報発信を行うなど地域との連携に努力いただいている。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	これまでに市民向けの公開講座の開催や、通所リハビリテーションに高齢者向けのリハビリマシンを取り入れるなど、介護予防のため新たなプログラムを導入し、多様な要望に応えるようにしました。また、施設入所者の方の室料を、市民の方に限り、低減をさせていただいています。
市の評価	市民サービスの向上に向け公開講座の開催や通所リハビリテーションの充実を図るなど近隣の利用に配慮した取り組みを行っていただいている。また、市民に限定して施設入所者の方の室料を、低減をいただくなど市民サービスに配慮いただいている。

安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	新型コロナウイルスの感染防止や施設内でクラスターが発生した時の対策のため、感染対策委員会を中心に新型コロナウイルス感染症に特化した感染対策（マニュアル作成等）を徹底しています。また、事故対策委員会を設置し、事故防止マニュアルの整備を行い、事故の発生防止及び事故発生時の対応手順等が実際に機能するように努めています。
市の評価	新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、感染防止対策の強化に向けマニュアル作成を行うなど感染対策委員会を活用し、クラスター予防に向け取り組んでいただいている。また、事故対策委員会を設置いただき、事故防止マニュアルの整備等、事故の発生防止及び事故発生時の対応に向け取り組んでいただいている。
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	高齢者ニーズに適応したサービスの提供を行うことで、利用率の維持向上を図り、比較的安定した運営を行うことができています。今後も、医療必要度の高い利用者の受け入れ等も積極的に行い、安定した事業の継続に努めます。
市の評価	コロナ禍の中、利用者ニーズに適応したサービス提供等利用率向上に取り組み安定経営に向け努力いただいている。また、老人保健施設として医療の必要な利用者の受け入れ等、積極的に行っていただいている。

6 指定管理者の財務の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産	8,255,910,608	8,816,722,885	9,479,161,217
流動資産	4,126,676,119	3,864,367,552	4,388,613,135
固定資産	4,129,234,489	4,952,355,333	5,090,548,082
負債	1,806,916,545	1,992,161,843	1,975,475,148
流動負債	363,857,386	362,815,804	453,049,847
固定負債	1,443,059,159	1,629,346,039	1,522,425,301
純資産	6,448,994,063	6,824,561,042	7,503,686,069
資本金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
売上高	4,582,874,680	4,668,363,907	5,132,169,041
経常利益	525,357,151	511,644,099	957,426,472

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自己資本比率 純資産/資産×100	78.1%	77.4%	79.2%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	28.0%	29.2%	26.3%
固定比率 固定資産/純資産×100	64.0%	72.6%	67.8%
流動比率 流動資産/流動負債×100	1134.1%	1065.1%	968.7%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	52.3%	58.6%	56.4%
総資産回転率 売上高/資産×100	55.5%	52.9%	54.1%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	6.4%	5.8%	10.1%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価

本年も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響による利用控え（通所リハビリテーション）が生じた。新型コロナウイルス感染対策に力を注ぎ、利用者様に安心して利用していただける施設を目指します。

市の評価

新型コロナウイルス感染症の流行が続き、世界情勢による物価高騰など介護サービスにとって厳しい状況が続いていますが、市民のサービスの向上、利用者ニーズへの対応に継続して取り組んでいただき、今後も超強化型施設であることを強みとして、利用及び在宅復帰率の維持、向上に向け適切な運営に努めていただきたい。